



- 会長／林広一郎
- 副会長／小口裕司・宮坂晃介
- 幹事／北澤洋之介
- R 情報(会報)委員長／吉村栄二

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939  
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 太田屋メモリー

## 第 2978 回例会 2022 年（令和 4 年）10 月 11 日(火)

点 鐘：林 広一郎 司 会：濱 毅  
斉 唱：なし  
ラッキーNo：NO. 15 江黒寛文  
結 婚 祝：大橋正明・竹村一幸・宮坂宥洪・矢島 進・小口泰史・佐伯克己・薩摩 建

※短縮例会（会食なし）

### 会長挨拶

皆さん、こんにちは。

挨拶の前に本日のお客様をご紹介します。

諏訪広域消防 岡谷消防署・署長 玉置 淳様でございます。

後ほど詳しいご紹介、ならびに卓話をお願いしていますので、よろしく願いいたします。

会員皆様におかれましては、この3連休:8日(土)～10(月)、いかがお過ごしでしたでしょうか。岡谷市内の各神社の小宮では、御柱祭が行われました。

私も9日(日)に、近くの小宮の里曳きに氏子(曳き子)の一人として参加いたしました。子供連の木やりを後押しに、ご近所の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。(もちろん参加者していた皆さん、マスクは着用していました。)

この3年あまり、人との接触に配慮するということで、オンライン環境も取り入れながら、私たちはロータリー活動を進めてきています。

今後、ウイズコロナといわれる(コロナと共存していく)時代の中で、マスクの着用や換気・消毒など基本的な感染対策はまだまだ必要だと思いますが、リアルとオンラインを上手く組み合わせながら、私たち一人ひとりにとって、安全で負担のかからない形で、ロータリー活動をはじめ、様々な社会活動に参画することができていければ良いなど、あらためて思った次第です。

そして、本日の例会も(長野県HP 諏訪圏域:感染警戒レベル3に配慮して)

会食はせずにお弁当お持ち帰りの短縮例会とさせていただきます。

以上、本日もよろしく願いいたします。

## 会長報告

・クラブ内規「1. 役員および理事指名委員会」に基づき理事・役員指名委員会委員を委嘱します。

○委員長＝山岸邦太郎 委員＝林 裕彦、中村文明、林広一郎、梅垣和彦、笠原新太郎、北澤洋之介、瀬戸雅三

・今回の台湾地震について埔里 RC に状況を伺いました。メンバー、ご家族、家屋、会社など、全て被害もなくご無事だそうです。かなり揺れは感じましたが大丈夫との事です。お見舞いのお話をしましたら、大変恐縮されて「被害はないので大丈夫です。お気持ちだけありがたくいただきます。」とお返事をいただきました。

## 幹事報告

- ・次週 10/18 は、3クラブ合同夜間例会の予定でしたが中止です。(昼例会もなし)
- ・10/25 は年間計画による指定休会です。
- ・次回は 11/1、ガバナー補佐事前訪問です。例会後クラブ協議会があるので、理事役員、各委員長の方は予定しておいてください。
- ・10/30 のロータリー奉仕デーは、予定通り岡谷エコーロータリークラブ合同で、カノラホール周辺の清掃活動を行います。よろしく願いいたします。

## 委員会報告

山岸邦太郎 役員および理事指名委員長 2023-2024 年度役員・理事の推薦を、11月1日(火)16時まで受け付けます。推薦される方は期日までに委員会まで申し出てください。今後の予定としては、11月8日(火)例会にて推薦の結果をご報告いたします。推薦がなければ、同日例会終了後に、役員および理事指名委員会を開催し決めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。



### 卓話「岡谷消防署の災害対応について」

岡谷消防署長 玉置 淳様

皆さんこんにちは、岡谷消防署の玉置でございます。平素より消防行政に深いご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。さて、本日は、岡谷ロータリークラブ様の例会の中で、貴重なお時間をいただき、お話をさせていただきます。内容としましては、私の体験した話しを交えつつ、災害対応等について、また消防署からのPRも含めお話をしたいと思います。 よろしく願いいたします。

○自己紹介

諏訪広域消防は、平成27年度より、諏訪圏域6市町村の消防が一元化され新体制となりました。岡谷消防署も一元化に合わせ消防本部、消防通信指令センターも一緒になり、加茂町にて新庁舎として運用が開始され、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うこととし業務遂行しております。

まず、令和3年中の諏訪広域消防、岡谷市の火災発生状況です。火災件数8件で、建物火災が4件、その他火災(休耕田等の枯草)が4件でした。近年、横ばい又は減少傾向です。建物火災を見てみますと、全焼は1件で、3件は部分焼やぼやにとどまっております。出火原因を広域消防全体の火災件数の69件を見ますと1たき火10% 2火入れ 10%と上位を占め、コンロや電気器具は数件で、タバコは0件となっております。また建物火災の減少の要因としては、電気器具やストーブなどの製品における防火安全性能の向上、住宅火災警報器の普及、喫煙率(タバコ)の減少などから火災は減っていると考えられます。

私たちとしても減少していくことは、これまで、火災予防を訴えてきたことが実ってきたものと感じ喜ばしいところです。しかし、件数は減少しても、火災は複雑、多様化するため新たに対応することが求められていると感じております。今、住宅火災警報器の普及とお話ししましたが、住宅火災警報器をご存じでしょうか? 自宅の天井などに付いているのでしょうか?

お渡ししたパンフレットにも記載されていますが、住宅の寝室や階段部分に電池式の煙感知器を設置し、火災の発生を早く住民に知らせ、逃げ遅れをなくそうとするものになります。義務化によって未然に防がれている事例を聞きます。

住宅火災報知器が作動し、火災を未然に防いだ現場を、私が経験しましたのでお話しします。当直勤務をしていた時、火災には至ってない警戒との指令が入り、消防車で出動しました。要請場所の住宅に到着すると、建物の中からブザーが鳴り響いており、玄関付近で家人と話をする、「台所で煮物を鍋に掛けたまま庭で草取りをしていたところ、家の中からブザー音が鳴ったため、急いで家にはいると、家中煙が充満しており、煮物をしていたことに気付き、台所に急いで行き、コンロの火を消して、鍋からは火は出てなかったのですが、水をかけた」と聞き取りました。これは、住宅火災警報器が作動したことにより、出火を防いだ事例だったと思います。設置についてご協力をお願いします。

次に、消防自動車がサイレン吹鳴し、緊急走行しているのは火災以外の時も多くあります。火災以外の災害等の活動について紹介させていただきます。まず救助出動です。救助隊の出動となり、交通事故での閉じ込めや機械による事故などや水の事故も有り、水難事故としてボート使用したり、潜水隊が潜るような活動もしております。また、特別救助隊が、山岳、山間地救助活動の構築にむけて活動を開始しているところです。

次に警戒出動があります、例えば、交通事故で油が漏れて着火の危険がある場合、ガス漏れ等火災になる危険がある場合、119番通報は繋がっているが応答がないなど、火事や救急かどうか不明である通報の確認、工場やビルなどで非常ベルが鳴った場合などがあります。危険を排除したり、火災かの確認をするため出動しています。また緊急ではないその他の出動があります。それはペットなどの動物保護があります。「屋根の上で、猫の鳴き声がする。」「犬が側溝のU字溝から出られない」など出動もあります。他の災害出動に支障のないところで市民安心安全として活動を行っています。件数は少ないです。

次に救急出動ですが、諏訪広域消防全体で令和3年中8216件、1日に225件、昨年よりも357件増と増加傾向にあります。内訳として急病約6割、一般負傷約2割、交通

事故は約1割となっております。

そこで、救急車の適正な利用についてお願いになります。

救急出動件数が増加するに従い、近くの救急車が出場中で、次に同じ地区で重傷者が発生しても、近くの救急車は出払っていますので、隣の消防署からの出動となりますので、救急車の到着が遅れることになり、当然ですが病院への搬送も遅れます。本当に必要な人に救急車を使いたいものです。通報前に本当に救急車が必要か一度考えていただきたいと思います。とても判断には難しいところがあります。緊急性がある場合(心筋梗塞や脳卒中など)は躊躇なく119番通報をしていただきたいと思います。

私が救急出場で経験したことをお話しします。

当直している午前中のことでした。高齢のご夫婦2人暮らしで、夫の具合が悪いとの通報で出場しました。現場について妻から状況を聞き取ると、「昨日の夜から右手右足が使いづらく、夫から「寝れば治る、大丈夫。」というので様子を見れば治ると思っていた、今朝になり良くならないから救急車を呼びました」との回答でした。我々も観察の結果、脳卒中を疑い病院へ搬送し、結果脳梗塞、重症でした。脳梗塞は早期発見で、病院での処置をすれば劇的に改善する可能性があります。昨夜のうちに119番してくれたらと、やり切れない気持ちとなったことを覚えております。このような症状が出た時、必要な時には、躊躇せず救急車を呼んでほしいと思います。

先ほどもお話ししましたが、火災による出動件数は減少傾向であり、近年は、災害として水害、地震、噴火など、何百年、何十年に一度と言われている災害が発生しております。

世界、全国でも、気候の変動等(異常気象)による災害は変化しつつあり、特に水害は、毎年のように想定外の局地的な豪雨、線状降水帯などによる長時間の降雨などにより、浸水や土砂災害など水害が全国各地で発生しています。

岡谷市でも平成18年、令和3年と土石流災害を経験しており、今年の豪雨は記憶に新しいところだと思います。

私も平成18年の時には、交流職員として下諏訪消防署で当直勤務中に経験したことをお話ししたいと思います。

諏訪湖付近の浸水により家屋に取り残された人の安否、避難誘導のために出動しました。すでに雨は止み、諏訪湖が満ちており、初めて見る光景で、驚いたことを今でも覚えています。行き場のない水で、浸水した深さは胸位までに達し、避難のためのボートを押して、胸までつかり、浸水した各住宅を周り安否、避難を促し、希望者にはボートに乗せて避難の対応をしました。この方が垂直避難をしたのか、家の2階部分にいたことが思い出されます。下諏訪町では死傷者が出るような災害はありませんでしたが、早い避難は重要であると感じたところでもあります。

行政では、災害を繰り返さないとの思いからハード面、ソフト面で常に対応しているところではありますが、限界はあると感じます。自分自身や愛する家族を守るためにも、事前に自分の住んでいる場所のハザードマップにより、起こりうる災害や避難場所の確認をすることは必要となります。また大雨時には、行政の広報や大雨の気象情報を得ることは大切です。

最近ではテレビなど気象に関する情報は、各自治体のニュースが常に流れ、視覚的にわかりやすく、また、どのような行動をとれば良いのか、繰り返し伝えていま

す。判断の材料になると感じています。

「ここは大丈夫、私たちは大丈夫」という考えを改め、命を守る行動として、早い避難を心がけるようにしたいものです。また、地域で住民同士の声掛けにより、早い避難が出来た事で、土砂災害が発生しても命は助かったとのニュースが報じられております。空振りに終わってもいいから、安全な場所に避難しようと考えてほしいと思います。

情報収集としまして、降雨については、予報として気象情報で事前に知ることが可能です。しかし地震については、緊急時地震速報として発生数秒前にわかりますが、2,3日前から予報はありません。地震に対する準備もお願いします。

災害は忘れたところにやってきます。備えあれば憂いなしです。

駆け足で、まとまりのない話でしたが、災害対応等について紹介させて頂きました。災害時には、自助、共助が大切です。自分たちで、また地域で協力して対応することを心掛けていただきたいと思います。

最後になりますが、岡谷ロータリークラブの皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げ、本日のお話を終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

## ニコニコボックス

小口智之 先日のゴルフコンペで優勝することができました。ありがとうございました。

宮澤由己 9月27日の親睦ゴルフコンペに於いて、運よく準優勝することができました。これも当日回っていただいた同伴競技者の皆さんのおかげだと思います。本当にありがとうございました。

梅垣和彦・江黒寛文・太田博久・大滝祐吉・大橋正明・小口 功・小口国之・小口 隆・尾関秀雄・笠原新太郎・片倉克昭・上條英雄・北澤洋之介・小林大介・小宮山英利・佐伯克己・薩摩 建・杉村邦彦・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・西澤 賢・濱 毅・林広一郎・林 裕彦・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 貴・矢島 実・矢島雄一・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫 岡谷消防署長玉置淳様、本日はよろしく願いいたします。

## 出席報告

会員数50名、出席者43名、出席率88.0%

2022-2023年度 RIテーマ

Rotary



IMAGINE  
ROTARY



IMAGINE  
ROTARY